7.26 施設害者虐殺から５年・JIL脱施設プロジェクト「献花及びオンライン献花」

日時：2021年7月26日(月)

場所：津久井やまゆり園

14:00〜　献花、オンライン献花開始

Zoomミーティングに参加する

<https://us06web.zoom.us/j/89710205103?pwd=NEgvVkpuN1h3ZlNoMkFKcS9sZS9Udz09>

ミーティングID: 897 1020 5103

パスコード: 575682

15:30〜　解散

献花台：ともに生きる社会かながわ推進週間のため、令和3年7月26日（月曜日）から8月1日（日曜日）までの期間の9時から17時まで準備されています。

《必ずご確認ください》

・参加の際には必ずマスクを着用してください。

・暑さや急な雨が予想されます。水分補給や雨具の用意をお願いいたします。

呼びかけ：JIL脱施設プロジェクト

連絡先：jcsa.kikusui@gmail.com

目的：

神奈川県相模原市にある障害者施設で19名もの人々の命が奪われた事件から、今年で5年が経ちます。

相模原殺傷事件は、施設という特殊な環境だから起きただけではなく、施設の処遇の問題など浮き彫りになってきています。加害者の問題も去ることながら、なぜ加害者をそうさせてしまったのか、施設そのものの在り方が問われています。

JILでは、昨年、脱施設プロジェクトを立ち上げ、入所施設の閉鎖を目指すこと、またそれと対になる地域基盤の強化を進めていくことなど、施設機能を地域に完全移行していきたいと本気で考えています。

この事件は、コロナ禍の影響もあってか、関心も薄れ事件が風化されつつありますが、あそこまでの大きな事件を突き付けられながら、社会が何も変わらない訳がありません。全国でも事件から５年目を迎えるにあたり様々な取り組みを行っています。私たちJIL脱施設プロジェクトも、代表の岡本が実際にやまゆり園に出向き、直接献花を行ってきます。

その際、思いがあってもコロナ禍でなかなか外出が難しい方のために不謹慎ではありますが、Zoomを活用し、オンライン献花と題して、一定期間やまゆり園とつなごうと考えています。初の試みのため、うまくつながらないことがあるかもしれませんが、とにかくやってみようと思っています。

　私たちはあの事件を、決して許さず忘れないために、またこの世界にあった19名の人生に思いをはせ、追悼の意をともにするために一緒に献花をしましょう。